

● ふるさとコミュニケーション科を中心とした表現力の育成

半成人や立志の節目で交流させる時間を設けたり、異学年で活動する場を作ったりして、小学生に中学生へのあこがれを、中学生に独り立ちに向けた気持ちを表現させている。



自分デザイン発表会（上飯中）



半成人式（中津小）

● 道徳科、道徳の時間の充実

児童生徒の実態に即して、9か年のスパンを見通した道徳科、道徳の時間の充実を図っている。

- ・小中共同重点指導内容項目の設定 → 礼儀、生命尊重
- ・小中学校教諭相互授業参観



授業交流（小→中）



地域人材を活用した「命」を考える授業

● 異年齢集団による行事の実施

小中連携・幼小連携はもちろん、幼小中連携や幼中連携に取り組む、発達の段階に応じたリーダーシップを育成している。



中学生の幼稚園実習



幼小中合同大運動会

● 卒業生追跡調査「高校生の生活に関するアンケート」

高1、高2の生徒とその保護者に対して、島立ち後の学習や生活の状況及び課題について調査し、在校生の生活改善に生かしている。

質問内容	回答
独り立ちをして大切だと感じる事	・あいさつ ・整理整頓 ・コミュニケーションの取り方
独り立ちまでに身に付けた方がよいと感じる事	・整理整頓 ・自分で考えて動くこと ・健康管理 ・我慢強さ ・自立起床
先輩へのメッセージを	・自主学習の習慣は絶対大事。

- ・困難に立ち向かう覚悟と強さをもってほしい。
- ・家族との時間や島で過ごす一日一日を大切に過ごしてほしい。
- ・島で生活できることを誇りに思ってもらいたい。
- ・何にでも興味をもってチャレンジしてほしい。

● 言語活動の充実のための論理的思考モデル活用

思考力・判断力・表現力を高め、自らの思いを表現できる児童生徒を育成するために、論理的思考モデルを活用し、思考を整理させ、スムーズな表現と活発な意見の交流を促している。また、全教育活動で活用させることによって、更なる言語活動の充実を図っている。

基礎期	充実期	発展期
<p>サツサツとかがえよう</p> <ol style="list-style-type: none"> よそうする ならべる りゆうをいう <p>ムムムと考えよう</p> <ol style="list-style-type: none"> よそうする 順にならべる 理由づける くらべる 分ける まとめる 	<p>エイエイと考えよう</p> <ol style="list-style-type: none"> 類推する 順序づける 理由づける 比較する 分類する 統合する 関連づける 具体化する 	<p>11(イイ)考え方</p> <ol style="list-style-type: none"> 類推する 順序づける 理由づける 比較する 分類する 統合する 関連づける 具体化する 多面化する 一般化する 批判する

思考モデルの習得

思考モデルの活用

思考モデルの探究

● 個に応じた指導・支援の工夫

児童生徒一人一人の理解を助けるために、通常の学級における特別支援教育の視点を取り入れた教育活動を展開している。

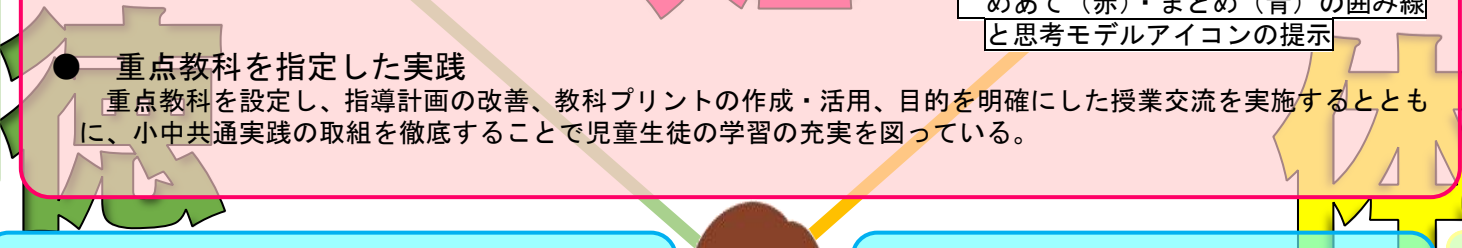
- (1) アセスメントシートを活用した個別の対応
- (2) ユニバーサルデザインの視点を取り入れた学習環境の整備
- (3) 小中合同研修会における、児童生徒の情報交換
- (4) 家庭学習における個別の課題の提示
- (5) 教師による発問の工夫と児童生徒の発表話型の提示



めあて（赤）・まとめ（青）の囲み線と思考モデルアイコンの提示

● 重点教科を指定した実践

重点教科を設定し、指導計画の改善、教科プリントの作成・活用、目的を明確にした授業交流を実施するとともに、小中共同実践の取組を徹底することで児童生徒の学習の充実を図っている。



● 地域との交流・地域人材の活用

地域の方々への知恵や教養を学ぶ機会を作り、ふるさとを知り、愛し、誇りに思う児童生徒を育成している。

史跡巡り

こしき園訪問



● 自立する力の育成

中学校卒業までに、自立する力を身に付けさせるために、子供及び保護者の自己評価で達成率が低かった項目について、ポスターを作成・配布し、自己評価シートで振り返らせている。H29年度は、学期1回「整理整頓強調週間」を設定し取り組んだ。

【小中一貫指導項目ポスター】

基礎期（ホップ編）
小学1年生～小学4年生

● 基礎学力向上と活用力の育成

- ・公立高校入試目安点問題を、年間3回以上授業で指導することを小中共同指導事項に設定し指導を徹底している。
- ・「つなぎ課題」の実施と確かな見届けを行っている。
- ・NRT分析結果を小中で共有し、共同実践事項や重点指導内容を設定し、授業交流や授業の中で取組の検証を行っている。

教科	共同実践事項	実践する目的
国語	言葉集め ログライン書き 黙読確認テスト(基礎期)	語彙力向上 文章読解 文章読解
社会	掲示教育の充実 資料の活用	資料の読解力の向上 基礎知識の充実
算数 数学	算数博士/数学名人	計算力向上
理科	ドリルの作成・実施 自由研究の事前学習	基礎知識の充実 自由研究への意欲向上 と作成手順の説明

● 体力向上プログラムの実施

体力・運動能力調査結果の分析を基に、小中共同の実践項目を設定し、体力の向上と運動の喜びを体感させている。

- 【体力向上プログラムの主な実施内容】
- (1) 授業のはじめに、基本的な力を高める補助運動を実施する。
 - (2) 児童生徒の実態に応じた細やかなアドバイスをを行う。
 - (3) 調査結果のデータを活用し、教科部会で取組の検証と計画の改善を図る。



小学生と中学生のリレー

● 小中合同学校保健委員会

平成27年度より、小中の保護者に子供の健康課題について、協議して学習する機会を設定した。

- 協議内容
- ・テレビ時間を減らす工夫
 - ・実態共有・習慣づくり
 - ・家族目標の必要性



メディアコントロール

● 生活リズム調査・合同保健だよりの取組

小中共同の全体目標を設定し、年4回の「生活リズム調査」を実施し、分析結果を基に、一斉指導と個別指導で改善を図っている。また、年3回の小中合同保健だよりに「はつらつかみこしき」で、小中が一緒になって、各家庭との連携を図りながら児童生徒の健康づくりに努めている。

せいかつ生活リズムしらべ

中津小学校の1年間の目標スローガン
～ 早く寝て 自分で起きる さわやかな朝 ～

★毎朝の目標は、 時！ 分です。
★毎日の目標は、 時！ 分です。★

	2月11日	2月12日	2月13日
おきたじこく	時 分	時 分	時 分
はやおき	1 自分で起きた 2 おこなった	1 自分で起きた 2 おこなった	1 自分で起きた 2 おこなった

保護者の皆様へ

はつらつかみこしき

～小中合同学校保健委員会特集号～

9月8日(金)、今年で3回目となる平成29年度小中合同学校保健委員会 法人企業教育研究会から竹内正樹さんをお招きし、「家族で考えるメディア」に講話をしていただきました。竹内さんは、メディアリテラシー教育やICT門とし、企業と連携した出前授業を全国の学校で行っていらっしゃいます。お知らせいたします。

※ 学校保健委員会とは、学校における健康に関する課題を研究協議し、健康づくりを